ガイドブックを片手に
自分旅にでかけよう

お問い合わせコール あだち
（受付時間：午前8時から午後8時まで）
03-3880-0039
FAX 24時間受付 03-3880-0041

詳細はこちらから
あだち花小旅ガイドブック 検索

発行 （一財）足立区観光交流協会
制作・印刷 株式会社 丸庄
2024年3月発行 ※掲載情報は2024年2月現在のものです。

自分旅にでかけよう

あだち花小旅 はなこたび ガイドブック

あだち花小旅（はなこたび） ガイドブック

桜やチューリップなどの花のスポットを、ガイドブックを片手に自由に巡る。
バスで、自転車で、歩いて。どこを巡るかはあなた次第。
足立の花を巡る小さな旅へ出かけませんか？

舎人エリア P3・4

- 都立舎人公園
- 冒険の丘
- 見沼代親水公園
- 舎人緑道公園
- 伊興遺跡公園
- 江北北部緑道公園

竹の塚エリア P19・20

- 炎天寺
- 元渕江公園 / 足立区生物園
- 昭和の家 / 縁側カフェ
- 竹塚神社
- 竹の塚彫刻の道

花畑エリア P23・24

- 花畑記念庭園・桜花亭 / 花畑公園
- 花畑大鷲神社
- 総合スポーツセンター
- 六町ミュージアム・フローラ
- 桑袋ビオトープ公園

伊興寺町エリア P5・6

鹿浜エリア P7・8

- 都市農業公園
- 足立堀之内公園
- あだち五色桜の散歩みち
- 新田さくら公園
- 北鹿浜公園

大谷田エリア P33・34

- 葛西用水親水水路
- 足立区立郷土博物館 / 東渕江庭園
- 大谷田南公園
- 大谷田公園
- 神明・六木遊歩道

綾瀬エリア P17・18

- しょうぶ沼公園
- 都立東綾瀬公園
- あやセンター ぐるぐる
- 観音寺
- 都立東京武道館

西新井エリア P27・28

- 西新井大師・總持寺
- ギャラクシティ
- 鷲神社
- 亀甲トレイン公園

PICK UP

- デザインマンホール

中央本町エリア P25・26

- ベルモント公園
- 青和ばら公園
- 中央公園
- 五反野コミュニティ公園 / 五反野親水緑道
- 西之宮稲荷神社

千住エリア① P11・12

- 荒川河川敷 / 虹の広場
- お休み処 千住街の駅
- 千住神社
- 旧板垣家住宅主屋
- 千住の銭湯（タカラ湯）
- シアター 1010（足立区文化芸術劇場）

千住エリア② P13・14

- 千住大踏切付近
- 清亮寺
- 柳原千草園
- 千住大川端公園

PICK UP

- 足立区とチューリップ
- 清亮寺と槍かけの松

コラム1 伊興寺町散策 P5・6
コラム2 五色桜とレーガン桜 ―区の木である桜の歴史― P9
コラム3 都市農業公園に咲く花々 P10
コラム4 千住宿の今昔物語 P15
コラム5 探せ！千住の「冨嶽三十六景」 P16
コラム6 荒川放水路の今昔物語 P16
コラム7 虫も魚も動物も！生きものいっぱいの生物園 P21・22
コラム8 西新井大師探訪 P29・30
コラム9 徳川家ゆかりの地を巡る寺小旅 P31・32
コラム10 足立区が誇る５大イベント P35・36
コラム11 足立区にはユニークな公園がいっぱい！ P37・38
コラム12 あだちの輝くお店セレクション ～スイーツ編～ P39・40
コラム13 足立区の友好自治体と姉妹都市 P41・42

施設により開園状況等は異なりますので、お出かけ前にお確かめください。

1 都立舎人公園

面積65万㎡の公園で、ソリゲレンデ、冒険の丘、陸上競技場等目的に応じて楽しめます。園内には約1,000本の桜が植えられ、春はお花見客で賑わいます。

2 冒険の丘

戦国時代の城をイメージしたすべり台▶

◀６つの複合遊具のうちの１つ、伊興遺跡からの出土品をイメージした「円筒埴輪の塔」

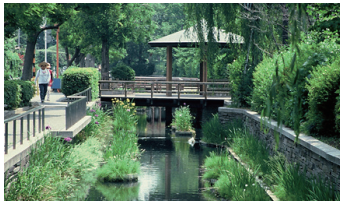
小学生を対象にした複合遊具エリア「冒険の丘」では、登ったり、滑ったり、くぐったり、体を動かしながら冒険気分を満喫できます。

住足立区舎人公園1-1　電03-3857-2308

3 見沼代親水公園

農業用水路の水と緑をそのまま活かした、全長約1.7kmの散歩道です。春には、水路沿いに約60本の桜が咲いて素晴らしい眺望です。

住足立区古千谷本町4-8～舎人4-5



水路沿いに咲く桜

4 舎人緑道公園

見沼代親水公園の西側に延びる毛長川の土手沿い約1.2kmの緑道には、約270本の桜並木が続き、満開時には桜のトンネルをつくります。

住足立区入谷9-10、入谷3-11、舎人6-13

再現された竪穴式住居

5 伊興遺跡公園

伊興遺跡からは、古墳時代の出土品が多く発見されました。園内では古墳時代を中心に古代の暮らしを体感できます。展示館には、祭祀用の遺物や土器が展示されており、野外にも当時の暮らしを再現した竪穴式住居と方形周溝墓があります。

住足立区東伊興4-9-1　電03-3898-9111

6 江北北部緑道公園

約1kmにわたり、10種類、約200本の里帰り桜が植樹されました。秋から春にかけて断続的に開花する十月桜のほか、ソメイヨシノやカンザンなどの品種も。春は4月中旬頃まで花を楽しめます。

住足立区谷在家2-13～皿沼3-18

舎人エリア MAP

コラム 1

伊興寺町散策

伊興地域には、寺院が密集した寺町があります。関東大震災後、都心及び各地より、14の寺院がこの地に移転してきました。寺町の雰囲気を満喫しながら、あだち寺小旅はいかがでしょう。

①狭間道プチテラス

閑静な裏通りにある穴場スポット。散策途中に一休みできるスペースがあり、地域の人が語った昔話が掲げられている。『伊興の「い」は、い・ろ・はの「い」、一番始めにできたところ、興ったところ、という意味。いい名前』

～壁面「伊興昔話あれこれ」より～

住足立区東伊興4-2-3

②白旗塚史跡公園

園内には、5～6世紀に築造された直径約12m、高さ2.5mの古墳があります。江戸時代の地誌『新編武蔵風土記稿』によると、源頼義・義家親子が奥州反乱の鎮圧に向かう途中でこの地に寄り、白旗（源氏の旗印）を立てた逸話から、白旗塚と呼ぶようになったといわれています。

住足立区東伊興3-10-14

PICK UP

かつての伊興地域は、伊興町○○のように小字があった地区でした。その後、「伊興本町」「東伊興」「西伊興」など新しい町名に変更されたため、小字はなくなりました。現在では、伊興大境保育園や伊興町前沼交差点などの一部施設名や交差点名にその名を留めています。

かつて存在した「伊興町+小字」の町名（一例）

■ 伊興町聖堂：現在の東伊興一丁目西側　■ 伊興町白幡：現在の東伊興三丁目付近

③伊興氷川神社（足立区登録記念物-史跡-）

足立区内最古の氷川神社です。毛長川の舟運の要所でもあり、淵が入り込んでいたため「淵之宮」と書いて「ふじのみや」とも呼ばれていました。境内にはケヤキやイチョウなどの指定保存樹があります。

住足立区東伊興2-12-14

④東岳寺

東海道五十三次で有名な浮世絵師、初代歌川広重の墓と記念碑があります。広重を海外へ紹介したアメリカ人ジョン・S・ハッパーの墓や、川柳の秀句を集めた俳風柳多留を出版した花屋久次郎の遺蹟碑もあります。

住足立区伊興本町1-5-16

⑤東陽寺

元は浅草にありましたが、関東大震災により消失。1928（昭和3）年に現在の場所に移転しました。落語中興の祖といわれる三遊亭圓朝（1839～1900）の「塩原多助一代記」のモデルとなった大商人塩原太助の墓や江戸時代に海運や治水に功績を残した河村瑞賢の追悼碑があります。

住足立区東伊興4-4-1

⑥法受寺

関東大震災後、谷中三崎町（台東区）の法住寺と浅草の安養寺が合併して、現在の場所に移転しました。足立区登録有形文化財である後深草法皇の木像や徳川五代将軍綱吉の生母桂昌院の墓があります。また、境内には伊興七福神の布袋尊が祀られています。

住足立区東伊興4-14-8

⑦薬師寺

境内には地蔵堂と庚申塚があります。秋には山門から本堂にかけて紅葉が鮮やかに境内を染め上げます。撮影のスポットとしてもおすすめです。

住足立区伊興5-4-3

⑧應現寺

切妻造の山門は、1637年の建立と伝えられ、区内最古といわれています。1879（明治12）年、旧寺域跡から室町時代のものと思われる経塚が発見されました。その中から経筒、五鈷鈴、唐宋の古銭とともに、平安時代後期のものと推定される兜鉢が出土しました。兜鉢は現在、東京国立博物館に所蔵されています。

住足立区伊興本町2-3-3

⑨赤山街道

江戸時代、旧日光街道の増田橋と赤山陣屋（現在の川口市赤山）との連絡や物資の輸送を目的として造られた道。街道沿いには、ベルモント市（区の姉妹都市）のシンボルである黒鳥など、736個（発行者調べ）のカラーマンホールがあります。

⑩保木間堀親水水路

かつての農業用水路を親水水路として整備しました。隣接する寺町の雰囲気と調和した通りとなっています。

1 都市農業公園

失われつつある農村風景を残した公園です。園内には区内から移築保存された、江戸時代後期の古民家（旧和井田家住宅）や旧増野製作所長屋門が見られます。春には約50種、250本の桜が咲き、河川敷花壇ではチューリップ約35,000本、秋にはコスモスも楽しめます。園内の畑で採れた旬の野菜は併設のレストランで味わうことができるだけでなく、都市農業交流館で購入できます（売り切れ次第終了）。

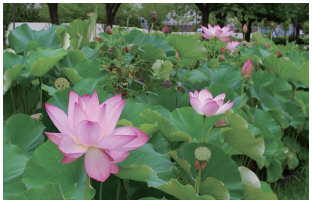
住足立区鹿浜2-44-1　電03-3853-4114

左：旧和井田家住宅　右：旧増野製作所長屋門

2 足立堀之内公園

園内にある約300㎡のハス池では、推定2,000年前の実から開花した「大賀ハス」を見ることができます。見ごろは6月上旬から7月下旬の早朝から午前中です。

住足立区堀之内2-1-1



5 新田さくら公園

区内最大級を誇る約16,000㎡の芝生広場や大型の遊具が人気の公園です。公園内のバラ花壇は約1,700株、約640㎡の広さを誇り、春と秋に北西側の入口を彩ります。

住足立区新田3-34-1

3 あだち五色桜（ごしきざくら）の散歩みち

色の異なる様々な品種の桜が咲き誇る様子から、明治期に「五色桜」と謳われた荒川土手の桜は、残念ながら1947（昭和22）年に消滅してしまいました。平成21～27年のふるさと桜オーナー制度により復活し、約4.4kmの桜並木として生まれ変わりました。桜越しに見る4五色桜大橋の夜景もおすすめ。

住足立区本木1-3 ～鹿浜1-1先

◀ 夜の五色桜と五色桜大橋

6 北鹿浜公園

区内2つの交通公園の1つで、実物のSLを展示しています。親子で楽しめるミニ列車や足踏みゴーカート、バッテリーカーなどが楽しめます。

住足立区鹿浜3-26-1
電03-3897-8030

運行日や年齢制限などはコチラ

コラム 2

五色桜とレーガン桜

- 区の木である桜の歴史 -

原色復元した荒川五色桜の絵はがき

国境を越えた里帰り

明治時代、足立には「千住の桜土手」「荒川堤桜」「中川堤の桜」が相次いで誕生しました。その中でも、江北地域の人々が1886（明治19）年に植樹した江北の荒川堤桜は、様々な品種の桜が、白や黄色、淡紅や濃紅色に彩られ五色の雲のようにたなびく姿から「五色桜」と呼ばれるようになり、東京の名所となっていきました。

有名になった荒川堤桜は1912（明治45）年2月19日、尾崎行雄東京市長からワシントンへ寄贈され、ポトマック河畔に植樹されました。しかし、同時期に荒川放水路（現荒川）の建設が始まり、荒川堤桜の多くが滅失し、また戦時中の物資不足の中で姿を消していってしまったのです。

戦後、その失われた桜の復活を目指す動きが始まります。

1981（昭和56）年、区制50周年記念事業として行われた桜の里帰り事業では、戦前に桜を贈ったポトマックの公園から桜の枝を採取し、30品種以上3,000本の「桜の里帰り」を実現させました。また、この事業の一環として、ワシントン桜まつり名誉会長だったナンシー・レーガン大統領夫人からソメイヨシノの桜が1本、足立区に寄贈されました。この桜は「レーガン桜」と呼ばれ、1984（昭和59）年、都立舎人公園に植樹され、今も花の時期には公園に訪れる人々を魅了しています。

明治時代の東京の名所であり、戦後の里帰り事業により復活した「五色桜」は足立区歌の中でも歌われており、区の桜の歴史の象徴となっています。

上：レーガン桜の植樹式
左：レーガン夫人からの桜贈呈式

コラム 3

都市農業公園に咲く花々

都市農業公園は、春は約50種約250本の桜、河川敷の約35,000本のチューリップ、秋にはコスモス、冬には梅など四季折々の花を楽しむことができます。

寒緋桜（かんひざくら）

花色は濃いピンク色で釣鐘状に咲きます。
見ごろは3月上旬から。

手毬（てまり）

いくつかの花が手毬のように固まって咲きます。
見ごろは4月上旬～中旬。

冬至（とうじ）

白花の一重咲きの品種で、お正月用の梅として使用されています。
見ごろは1月中旬～2月中旬。

ロウバイ

香り高い花が咲き、ロウ細工のような花びらが特徴的です。
見ごろは2月～3月。

スイセン

ヒガンバナ科の多年草で、オレンジ色のラッパのような花びらが特徴です。

ブーゲンビリア

熱帯性の低木で、花びらに見えるのは苞（ほう）と呼ばれる葉が変化したものです。

1荒川河川敷

夏は「足立の花火」、秋は「あだち区民まつり」の会場としても親しみのある河川敷。土手の舗装部分は、ランニングやサイクリングを楽しむ人で賑わっています。

住足立区千住5丁目地先

1虹の広場（荒川河川敷）

七色のレンガ調のタイルと季節の花で彩られた河川敷内の開放感ある広場です。春は約14,000本のチューリップとパンジーが、夏にはカンナが見事な花を咲かせます。

住足立区千住5丁目地先

2お休み処 千住街の駅

大正時代に建てられたといわれる元魚屋を利用した観光案内所です。散策に便利なお散歩マップやイベントのパンフレットが用意され、「千住宿」御宿場印や千住のお土産も販売しています。

住足立区千住3-69　電080-6630-8037

「千住宿」御宿場印 ▶

3千住神社

もとは926年に稲荷神社が創建。1279年に氷川神社を勧請したのち、1873(明治6) 年に両神社の合祀を経て、1915(大正4) 年に現在の千住神社に改称されました。また、1015年には、八幡太郎で知られる源義家が奥州征伐の際に当地を訪れ、戦勝祈願をしたといわれています。

住足立区千住宮元町24-1

4旧板垣家住宅主屋

江戸時代に千住宿として栄えた旧日光街道に面する洋館付和風住宅（昭和13年築）。令和4（2022）年に国から「登録有形文化財登録証」が交付されました。現在、内部はリノベーションされ、日本料理店「和食板垣」として活用されています。

住足立区千住5-6-7

5千住の銭湯（タカラ湯）

数ある千住の銭湯のなかでもタカラ湯は「キングオブ縁側」と呼ばれ、ツツジやアジサイ、紅葉など四季の植物や石灯籠、錦鯉が泳ぐ池を眺めることができます。

住足立区千住元町27-1　電03-3881-2660

6シアター1010（足立区文化芸術劇場）

一流の演劇を中心とした魅力ある舞台芸術を上演する約700席の劇場を中心に、稽古場、音楽練習室、ギャラリー等を有します。芸術文化の創造拠点として、多くの方に愛されています。

住足立区千住3-92 千住ミルディス I番館 10階　電03-5244-1010

花びら降り注ぐ桜のトンネル

千住 エリア②

［せんじゅ］

1千住大踏切付近

1千住大踏切付近

北千住駅の南側にある大踏切から、荒川土手に向かう約800mにわたる並木道の両側に、約90本の桜が咲き誇り、花のトンネルをつくります。

住足立区千住旭町、千住東2、柳原1、柳原2

2清亮寺（せいりょうじ）

日蓮宗の寺院で、開山は1619年と伝えられています。本尊は一塔両尊四士（いっとうりょうそんしし）です。本堂は1833年の再建と伝えられ、山門は1931（昭和6）年に再建されました。山門にある「久榮山」の扁額（ふせつ）は、明治から昭和にかけて活躍した洋画家・書家の中村不折の書です（足立区登録有形文化財）。

住足立区日ノ出町42-1

3柳原千草園

園内は四季をテーマに、「春の広場」にはロウバイや桜、「夏の庭」にはシャクナゲやアジサイ、「秋・冬の山」にはイタヤカエデなど、四季折々の花や木々が楽しめます。

住足立区柳原1-21-26

◀ 珍しい「ヒトツバタゴ」の木もあります

PICK UP

足立区とチューリップ

チューリップは1982（昭和57）年に「区の花」に制定されました。かつて、足立区内にはチューリップ農家が多数あり、大正時代には最新式のガラス温室を利用した栽培が試みられました。また、1917（大正6）年に鴨下金三氏によって完成された冷蔵によるチューリップの促成栽培は、「足立のチューリップ」として全国にその名をとどろかせました。

4千住大川端公園

4月中旬から下旬にかけて赤・薄桃・白のツツジが鮮やかに斜面を覆います。対岸にある都立汐入公園とともに、身近なリバーフロントパークとして親しまれています。

住足立区千住曙町41-10

PICK UP

清亮寺と槍かけの松

清亮寺門前の老松は、枝を四方に張り、幹が2m程の高さから屈曲して水戸街道の上に覆いかぶさっていました。

江戸時代、水戸黄門の名で知られる徳川光圀の行列がこの寺付近を通りかかりました。行列の槍持はどんなことがあろうとも槍を傾けたりはできませんが、そのまま進むと老松の幹にぶつかってしまう…。

普通なら天下の往来を妨げ、進行の邪魔になる松は切られてしまうところですが、光圀は休憩の命令を出したかと思うと、問題の老松の幹に槍を立てかけさせました。いつしか、この老松は「槍かけの松」と呼ばれるようになりました。樹齢350年以上の松でしたが、1945（昭和20）年頃に枯れてしまいました。参道脇には槍かけの松の石碑があり、松が生えていた当時の写真や由緒等を見ることができます。

ありし日の槍かけの松

コラム 4

千住宿の今昔物語

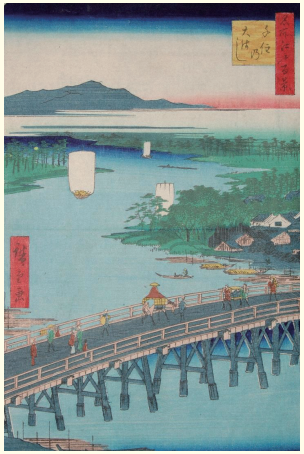
橋本貞秀『日光御街道千住宿日本無類楠橋杭之風景本願寺行粧之図』

江戸最大の宿場町

千住宿は、江戸と日光東照宮を結ぶ「将軍家の参道」として整備された、日光街道最初の宿場です。東海道の品川宿、中山道の板橋宿、甲州街道の内藤新宿とともに江戸四宿と呼ばれていました。1844年の記録によると、千住宿の人口は9,956人で、その規模は江戸四宿の中でも群を抜いていました。

千住大橋の架橋から物流の拠点へ

1594年、伊那忠次によって荒川（現隅田川）に千住大橋が架けられると、陸運と水運の結節点となったことが、繁栄の大きなポイントとなりました。



また、荒川は、上潮により、下流から上流へと遡ることも可能だったため、上り下りができる特殊な川でした。流通の発展により、千住宿は江戸に物資を運び込むため、問屋等が集中し栄えました。町衆たちが経済を支え、その経済力が美術や文化の支援者として重要な役割を果たすことになりました。

語り継がれる千住の歴史

千住の歴史は、区制80周年を契機に行われた文化遺産調査により明らかになってきました。その内容は1889（明治22）年に美術家の岡倉天心らによって創刊され、現在も刊行が続く美術雑誌「國華」にも特集されました。

千住宿開宿400年

1625年に誕生した千住宿は、2025（令和7）年に開宿400年という大きな節目を迎えます。当時からまちは様変わりしていますが、時代が移っても足立の「顔」であることに変わりはありません。

上：千住宿模型俯瞰
左：歌川広重『名所江戸百景 千住の大はし』

コラム 5

探せ！千住の「冨嶽三十六景」

富士山を主題とした葛飾北斎の「冨嶽三十六景」は、浮世絵の名作として知られています。実は、この中に千住を題材にした作品が三つも含まれているのです。画題となった場所近辺に顕彰碑も設置されているので、現在の街並みから当時の浮世絵の景色を思い描きつつ、あだちの街歩きをお楽しみください。

②「従千住花街眺望ノ不二」
現、南千住側の日光街道から新吉原遊郭を描いたものです。場大橋公園（千住橋戸町千住大橋橋台敷）内設置

①「武州千住」
墨堤通り沿いにあった元宿圦という水門と、駄付モッコという草や土を運ぶ網かごを載せた荷馬が描かれています。場帝京科学大学千住キャンパス（足立区千住桜木2-2-1）入口付近設置

③「隅田川関屋の里」
現在の墨堤通り沿いを疾走する早馬が描かれています。場所は定かではありませんが、描かれた風景から、千住仲町の氷川神社南側付近と推測されます。場千住仲町公園（足立区千住仲町28-1）内設置

コラム 6

荒川放水路の今昔物語

荒川放水路のはじまり

1910（明治43）年8月、梅雨前線と2つの台風が重なり、日本列島のほぼ半分を襲った明治43年の大洪水。その影響で交通や通信網も遮断され、東京では泥海と化したところを船で行き来し、ようやく水が引いて地面が見えるようになったのは12月を迎える頃でした。かつてない大洪水に、明治政府は臨時治水調査会を設け、抜本的な治水計画に乗り出しました。荒川は、国による改修すべき河川に位置付けられ、「荒川下流改修計画」が立てられました。

荒川放水路事業の着手

青山士氏

日本人としてただ一人、パナマ運河の建設に携わった技師である青山士氏が帰国後、荒川放水路建設の指揮をとることになりました。工事は1913（大正2）年から始まり、1923（大正12）年には西新井村の桜堤を切り開き、放水路の一部通水が行われました。工事開始から11年後の1924（大正13）年、岩淵水門完成によって全川に水が通り、10月12日には当時の関係者が出席した通水式が催されました。その後、放水路の建設により陸路が断たれた地域には千住新橋、西新井橋、江北橋などが架けられました。

荒川放水路通水100周年

荒川放水路は建設後、一度も決壊せず今も流域のまちとくらしを守り続けています。2024（令和6）年10月12日には通水式を行ってから100周年を迎えます。通水100周年を記念して、国や沿川自治体を中心にイベントも予定されています。

詳しくはコチラ

コラム

場設置場所

1しょうぶ沼公園

東京メトロ千代田線北綾瀬駅前に広がる花と緑豊かな公園です。園内の5つのしょうぶ田には、江戸系を中心とした約140品種のハナショウブが6月上旬から中旬に見ごろを迎え、訪れる人の目を楽しませてくれます。また、高さ4メートルの滝やせせらぎ水路、三連水車などもあり、水にも親しめる公園です。

住足立区谷中2-4-1

2都立東綾瀬公園

約15万9,000㎡の広大な公園です。逆U字形にのびる散策路は桜の名所でもあります。公園内には、東京武道館やすいすいらんど綾瀬（温水プール）、野球場、テニスコートなど多彩な施設が揃っています。公園西側の散歩道沿いを流れるせせらぎ水路では、カモなどの水鳥を見ることもできます。

住足立区綾瀬3～東綾瀬1
電03-3605-0005

3あやセンター ぐるぐる

「やってみたいを やってみる」をコンセプトに、皆さんの「やってみたい」を応援する3つのスペースで構成された施設です。oasisは「やってみたい」ことを見つける場所。暮らしや学びなどのテーマに沿った本や雑貨が並びます。baseは「やってみる」までの支援の場。常駐するスタッフが「やってみたい」を形にするための相談に乗ってくれます。parkは「やってみる」チャレンジの場。イベントやワークショップを開催しています。

住足立区綾瀬4-6-34

4観音寺

真言宗豊山派の寺院で、本尊は十一面観世音菩薩です。1868年3月、この地域に駐屯した新選組隊士の一部が当寺に分宿しました。

住足立区綾瀬4-9-6

5都立東京武道館

日本の伝統文化である武道の更なる普及と振興を図るため1990（平成2）年に開館。剣道や柔道などの競技大会のほか、卓球やバレーボールの練習場としても利用されています。

住足立区綾瀬3-20-1
電03-5697-2111

一茶が愛したまち

竹の塚エリア

［たけのつか］

1炎天寺

1 炎天寺（えんてんじ）

真言宗豊山派の寺院で、本尊は阿弥陀如来坐像です。八幡太郎こと源義家が奥州征伐でこの地を通った頃が旧暦六月の炎暑であったことから炎天寺と名付けられたといわれます。江戸時代の俳人小林一茶の句碑が境内にあります（※）。毎年11月23日に奉納蛙相撲が名物の「一茶まつり」が開催されています。

※小林一茶は、文人である竹塚東子（たけのつかとうし）とともに炎天寺周辺をよく歩き、「蝉鳴くや六月村の炎天寺」「やせ蛙負けるな一茶是にあり」などの句を残しました。1962（昭和37）年にそれらの句碑が境内に建てられました。

住足立区六月3-13-20

小林一茶の句にちなんだ「相撲を取るカエル」

2 元渕江公園／足立区生物園

ピクニックにぴったりな草地広場や、ボール遊びができる多目的広場、釣り池などがある元渕江公園。12月には約80万球のイルミネーションが彩る「光の祭典」のメイン会場でもあります。

足立区生物園正面入口

元渕江公園内にある足立区生物園。南国の蝶が舞う大温室、里山の自然を再現した昆虫ドーム、金魚が泳ぐ大水槽などの特色ある展示施設や、豊富な体験プログラムが楽しめます。入園料：大人（高校生以上）300円、小人（小中学生）150円。

住足立区保木間2-17-1
電03-3884-5577（足立区生物園）

3 昭和の家／縁側カフェ

1939（昭和14）年に建てられた洋館付和風建築。2012（平成24）年に国の登録文化財となった邸宅です。現在はカフェとして活用されています。縁側の椅子や畳の客間からガラス越しに眺める庭園には、しだれ桜やアジサイなど四季折々の花々も。

住足立区西保木間2-5-10
電050-5589-7284

上：昭和の家
下：縁側カフェ

4 竹塚神社（たけつか）

天元年間（978-983年）に伊勢神宮から勧請して創建。ご利益は、五穀豊穣、無病息災、厄除け、開運など。八幡太郎で有名な源義家の父、源頼義が奥州征伐の際にこの地で陣を張ったといわれています。

住足立区竹の塚6-12-1

5 竹の塚彫刻の道

かつての農業用水路をコミュニティ空間として整備しました。全長約600mにわたり個性豊かな7点の彫刻作品が並びます。道路下には災害時用の多目的貯水槽も設置されています。

小林俊己氏作『泉』

竹の塚エリア MAP

竹の塚エリア

コラム 7

虫も魚も動物も！生きものいっぱいの生物園

飼育する生きものは昆虫、魚類、両生類、は虫類、鳥類、哺乳類など約500種。工夫を凝らした展示、多種多様な体験プログラムなどが楽しめます。このコラムでは、生物園のオススメポイントを紹介します。

金魚の大水槽

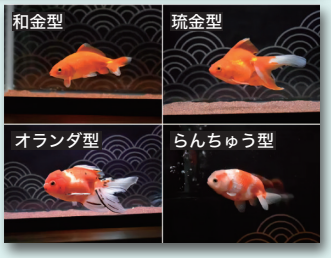
〈観察のポイント〉

4つの体型を探してみよう！

一口に金魚といっても、様々な種類の金魚がいます。

金魚の種類は大きく分けると和金（わきん）型、琉金（りゅうきん）型、オランダ型、らんちゅう型の4タイプがあります。

和金型はフナに近い体型で、琉金型は胴体が丸く膨らみ、オランダ型は尾びれが優雅に広がり、らんちゅう型は背びれがなく、尾びれが短いのが特徴です。



観察展示室

熱帯魚や両生類、は虫類など、いろいろな生きものを見ることができます。「磯の世界」と名付けられた水槽にはネコザメやウツボが泳ぐ姿も。

もっともっとモルモット

〈観察のポイント〉

モルモットはそれぞれ毛色が違います。スタッフは毛色で個体を区別していますが、中でも1番覚えるのが難しいのは三毛(白黒茶の毛が入り混じる)のモルモットです。同じ毛色でも模様が少しずつ違うので、よく観察してお気に入りの1匹を見つけてみよう。

ミュージアムショップ

生きもののぬいぐるみや図鑑などのグッズ、お菓子などを販売しています。

新商品＆人気商品の紹介

New

金魚トートバッグ

生物園スタッフによる金魚がデザインされたオリジナルのトートバッグ（全2種）。ちょっとしたお出かけに最適なサイズ。

New

金魚マグカップ

8品種の金魚が描かれたオリジナルマグカップ（全2種）。色とりどりの金魚を見比べながらほっと一息できます。

New

金魚アクリルキーホルダーガチャ

全7種の金魚がラインナップ。シークレットは春にぴったりのあの金魚!?どの金魚が当たっても嬉しいオリジナルガチャです。

ヘビの脱皮殻お守り

ヘビのデザイン部分は、強い光が当たると反射して光ります。古来から、ヘビの抜け殻を財布に入れておくと、金運が上がるといわれています。

もふもふTシャツ

生物園の可愛い生きものたちが描かれた「もふもふTシャツ」。チンチラ、モルモット、オカメインコがつみかさなっています。

土日限定いきものパン

カメのメロンパンやカブトムシのチョコパンなど、生物園で人気の生きものたちがモチーフのパン。土日限定販売で、売切れ次第販売終了。

たくさんのチョウが飛び交う大温室＆昆虫ドーム

1階から2階が吹き抜けになっている「大温室」や日本の里山をイメージした「昆虫ドーム」では、さまざまな種類の虫たちに出会えます。

大温室では、1年を通じてカラフルな羽や柄の入った羽を持つ南方系のチョウが飛び交います。南国の植物やアマゾンなどに生息する大きな熱帯魚（ピラルクやジャウー）の展示なども見どころの1つです。

オーストラリアドーム

オオカンガルーやパルマワラビーなどのオーストラリアの生きものたちがのんびり暮らしています。

〈観察のポイント〉

たくましい「しっぽ」に注目！

カンガルーの太くて長いしっぽには役目があります。立っているときは2本の脚としっぽを三脚のようにして身体を支え、ゆっくり歩くときは前脚・後脚・しっぽを入れて五足歩行のようになります。

イベント情報

生物園では毎月、スタッフによる生きもの解説やお子様向けの生きものとのふれあい体験等、多くのイベントを行っています。各イベントの内容や日時等、くわしくは生物園のホームページをご覧ください。

生物園ホームページ

1 花畑記念庭園・桜花亭／花畑公園

石垣と築地塀、堀で囲まれた日本庭園で、随所に配された雪見灯籠や春日灯籠が趣を添え、四季折々の花が目を楽しませてくれます。園内の集会施設「桜花亭」には茶庭を設えた茶室、庭園を一望できる和室、洋室があり、お茶会や会議、宴席など多目的に利用できます。隣接する花畑公園の約80本の桜を目当てに、毎年多くの花見客が訪れます。

住 足立区花畑4-40-1 電 03-3885-9795

花畑公園

2 花畑大鷲（おおとり）神社

祭神は日本武尊（やまとたけるのみこと）。創建年代は不詳ですが、平安時代の武将源義光（みなもとのよしみつ）が戦のために東北地方へ向かう途中、この地で見かけた鷲（わし）のおかげで戦いに勝つことができたことから、その鷲を祀ったのが始まりといわれています。また、「酉の市」発祥の神社で、毎年11月の酉の日には熊手などを売る店が並び大いに賑わいます。

住 足立区花畑7-16-8

御朱印 ▶

3 総合スポーツセンター

体育室、柔道場、テニスコートやウォーキングコースなどさまざまなスポーツの総合施設（一部施設の使用は有料）。敷地内には、障がいの有無に関係なくスポーツを楽しめる「スペシャルクライフコート」があります。このコートは、オランダの元サッカー選手、ヨハン・クライフ氏が設立した財団の支援によって設置され、アジア圏では唯一ここだけです。

住 足立区東保木間2-27-1
電 03-3859-8211

スペシャルクライフコート

4 六町ミュージアム・フローラ

現代日本画を中心に、江戸絵画や海外作品を含め季節とテーマに合わせて展示しています。2階のスペースからは、すり鉢状になった平屋の緑化屋根を見渡すことができます。

入館料：大人300円、学生・生徒200円、未就学児無料

住 足立区六町2-5-35
電 03-3885-7333

周囲がすり鉢状の中庭

5 桑袋ビオトープ公園

園内全体をビオトープとして管理している公園です。ビオトープや身近な生き物について楽しく学べる「あやせ川清流館」も併設され、イベント等を開催しています。

住 足立区花畑8-2-2
電 03-3884-1021

花畑エリア

異国情緒漂うエリアと花々

中央本町エリア

［ちゅうおうほんちょう］

1 ベルモント公園

足立区とベルモント市（オーストラリア）との姉妹都市締結のシンボルとして、1993（平成5）年に作られた公園です。バラをはじめとした美しい花壇、赤レンガの陳列館（オーストラリアの工芸品・日用品を展示）、ユーカリやブラシノキなどのオーストラリア原産の植物によって、異国的な雰囲気をつくり出しています。

住足立区梅島1-33-7、梅島2-17-2
電03-3852-6650

2 青和（せいわ）ばら公園

約100品種、約880株の色とりどりのバラが訪れる人を出迎えてくれます。異国情緒を醸し出す石畳やドーム風のパーゴラもあります。バラの見ごろは、5月と10月です。

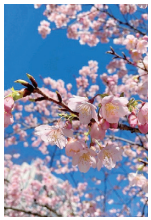
住足立区青井3-18-15

左：プリンセスアイコ、中：プリンセスミチコ、右：つくばエクスプレス

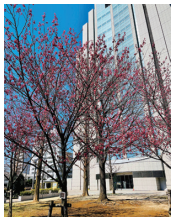
3 中央公園

区役所隣の中央公園は、春には桜が楽しめるスポットとして親しまれています。早咲きの桜である大漁桜（たいりょうざくら）や寒緋桜（かんひざくら）も植えられ、見頃は3月上旬から中旬です。園内には、白いハンカチがつり下がっているように見える「ハンカチの木」という珍しい樹木が1本植えられています。

住足立区中央本町1-14



大漁桜



寒緋桜

4 五反野コミュニティ公園／五反野親水緑道

春に東武スカイツリーラインを利用すると、車窓から桜が見える公園です。子ども達が遊ぶ遊具もあり、ゆっくり桜を楽しめます。夏にはじゃぶじゃぶ池や近くの五反野親水緑道で水の涼しさを感じることができます。

住足立区西綾瀬2-1-18

5 西之宮稲荷神社

1574年に京都伏見稲荷大社から分霊され創建したといわれています。江戸時代には東の宮、本田の宮、西の宮の3つの稲荷神社と氷川神社があったとされ、それらが紆余曲折を経て、大正時代に合祀されました。境内には区の登録有形民俗文化財の富士塚があります。

住足立区足立3-28-16
電03-3886-0296

四季折々の花が彩る

西新井エリア

［にしあらい］

1 西新井大師・總持寺（そうじじ）

（五智山遍照院總持寺）

「東国花の寺百ケ寺」の東京都一番札所である西新井大師は、境内に咲く約100品種2,500株の牡丹が有名です。ほかにも、桜や藤、アジサイなど四季折々の花を楽しむことができます。

住 足立区西新井1-15-1

六角堂

牡丹園

2 ギャラクシティ

クライミングウォールや国内最大級のネット遊具、23区最大のドーム（プラネタリウム）がある体験型複合施設です。遊びを通じて子どもたちの知的好奇心をくすぐります。隣接の西新井文化ホール（902席）は、音楽や文化活動の中心として、内外へ文化を発信しています。子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる公演やイベントを開催しています。

住 足立区栗原1-3-1
電 03-5242-8161

クライミングウォール

スペース あすれちっく（ネット遊具）

3 鷲（わし）神社

祭神は日本武尊（やまとたけるのみこと）、誉田別命（ほんだわけのみこと）、国常立命（くにとこたちのみこと）です。創建年代は不明ですが、中興は1318年といわれています。神社で奉納されている島根囃子と島根神代神楽（しんだいかぐら）は田口峯吉（みねきち）（1852〜1942）氏によって再興されたもので、境内には峯吉翁の米寿を祝った石碑もあります。

住 足立区島根4-25-1

4 亀田トレイン公園

東武鉄道の西新井車庫跡地の一部に2010（平成20）年3月に開園した公園です。鉄道を連想させる、線路の模様を描いた舗装や車輪を使ったモニュメントが設置されています。

住 足立区梅田8-14-3

PICK UP

デザインマンホール

漫画や区キャラクターを図柄にしたデザインマンホールが、区内に10カ所あります。ボクシング漫画「はじめの一歩」や「ビュー坊」のマンホールを見つけよう。

詳しいデザインマンホールの位置はコチラ→

全3種

全7

西新井エリア MAP

コラム 8

西新井大師探訪

山門

御朱印

建立は826年と伝わり、約1,200年の長い歴史を誇る、真言宗豊山派の寺院。ご本尊は十一面観世音菩薩と弘法大師です。山門は江戸時代後期の建物で、戸口左右には仁王像が控え、十二支や獅子頭などの彫刻も見事です。

参拝スポット

大本堂
西新井大師の中央にある黄金の本堂内は、十一面観音と弘法大師をまつっています。護摩祈祷などもここで行われます。

水洗い地蔵
十種の福徳が授かり、特に延命長寿に功徳があると言われています。

塩地蔵
江戸時代の頃より、イボに悩まされている多くの人が参拝しました。塩を頂き患部に擦りこみ、功徳があれば倍の塩を返す習わしになっています。

弁天堂
芸道・航海安全のご利益があると言われています。

稚児大師尊像
子育てや学業成就のご利益があると言われています。

如意輪堂(女人堂)
女性の様々な願い事にご利益があると言われています。

出世稲荷
商売繁盛・出世祈願のご利益があると言われています。

三匝堂(さんそうどう)
一匝に八十八体大師像、二匝に十三佛、三匝に五智如来と二十五菩薩をまつっています。(外観のみ公開)

花スポット

西新井大師は、花の名所としても有名です。3月下旬から見ごろになる花を紹介します。

藤:4月中旬〜下旬ごろ

桜:3月下旬〜4月上旬ごろ

牡丹:4月下旬〜5月ごろ

周辺グルメ

山門前にある参道の周辺には、有名な「草だんご」や「手焼きせんべい」などの老舗はもちろん、オシャレなカフェなど様々なジャンルのお店が並びます。

行事

毎月21日に行われる縁日をはじめ、様々な行事が行われ境内を賑わせます。

縁日(毎月21日)
21日はお大師さまのご縁日で、多くの参詣者が訪れ、露天商も出店しています。

❶

だるま供養(2月)
つとめ終えただるまをお焚き上げします。

❷

風鈴祭り(7月)
全国からたくさんの風鈴が集められ、涼やかで美しい音色が響きわたります。

足立区街フォトコンテスト投稿作品 ❶第2回/shunchanさん ❷第1回/amitieさん

コラム 9

徳川家ゆかりの地を巡る寺小旅

かつて江戸幕府の直轄領だった足立区には、
今も徳川家ゆかりのスポットが数多く残ります。
今に伝わるエピソードとともに紹介します。

▶ 寺院のマップなどはこちら

❖ 西新井大師・總持寺

826年創建　住足立区西新井1-15-1

学問所としても古くから名声を得ていました。1613年4月4日、将軍職を息子の秀忠に譲っていた家康は、全国から選抜した真言宗の学識有力寺院を集め行われた御前論議を駿府（現在の静岡県静岡市）で開催。その席に西新井大師の僧侶が出席し、家康と直接会って討論したといわれています。

❖ 性翁寺

1492年開山　住足立区扇2-19-3

檀家の武士が寺院を盛り立てようと将軍家に働きかけたことがきっかけで、1649年に3代将軍の家光から、領地を与える朱印状*を拝領しました。
本尊の木造阿弥陀如来坐像（非公開）は東京都指定文化財に登録されており、6体の阿弥陀様を作った際の余り木で作られたことから「木余り如来」とも呼ばれています。また、絵画の性翁寺縁起絵（非公開）も足立区登録文化財となるなど、多くの文化財を今に伝えています。

※将軍が代替わりごとに大名や公家に出す保証書のこと。寺院等に朱印状が出されると、大名や公家と同じ格式になる重要な文書。

❖ 吉祥院

創建は1288年と1305年の二説あり。
住足立区本木西町17-5

戦国時代から、現在の足立区とその周辺地域の有力な寺院で、江戸時代には真言宗の22の末寺（本山の支配下にある寺）を持つ寺院でした。江戸城の重要な儀式の1つに、正月に登城して将軍に挨拶する「年頭挨拶」があり、諸大名、公家などのほか重要な神社や寺院の住職が参列します。吉祥院は、歴代住職が正月に登城する寺院で、その際に利用していた駕籠（非公開）が現在も残っています。

❖ 實性寺

1489年創建　住足立区花畑3-17-18

2代将軍・秀忠と3代将軍・家光が鷹狩の際に訪れた寺院です。当時、この周辺は区内有数の教育施設が多くあった地域で、幕末にこの寺院で開かれた私塾では、寺子屋の域を超えた高等教育が行われていました。

※鷹狩とは、飼いならした鷹を野山に放って鳥や猪などを狩る狩猟の一種。江戸時代の武家たちは、技の向上と訓練のために盛んに催した。当時、足立区全域が鷹狩を行う鷹場となっていました。

❖ 国土安穏寺

1410年創建　住足立区島根4-4-1

将軍が鷹狩などでこの周辺を訪れた際の食事や休憩をとる場所（御膳所）であり、秀忠の時代から将軍が頻繁に訪れていました。8代将軍・吉宗が来訪した際には、将軍に仕える幕臣をはじめ警護の侍も配置されたほか、地元島根村（現在の足立区島根等）の人々も接待のため動員され、総勢100人程が御膳所を運営しました。その他にも、家光が訪れた際に焼き豆腐を献上したことや、9代将軍・家重がお世継ぎ時代に食事をしたことなどが今に伝わっています。

❖ 千住大橋　［番外編］

住足立区千住橋戸町

千住大橋

1590年、家康は江戸に入ると領国の整備として橋の建設を始めました。1592年には、入間川（現在の隅田川）に橋を掛けるため、側近の伊奈忠次を派遣。翌年9月には、隅田川に初めて架けられた橋として、千住大橋が完成しました。
橋の傍には徳川将軍家の人々が船で訪れた際に上陸するための御上がり場（千住大橋際御上がり場）が作られ、将軍や世継ぎたちが千住近郊の鷹場や小菅御殿へ向かう際に利用されました。千住大橋の下に架かる千住小橋には、12代将軍・家慶が御上がり場を利用している様子の絵（1848年「千住大橋之図」）や江戸城から御上がり場までのルートを示した当時の地図など、千住大橋際御上がり場についての展示が設置されています。
ちなみに、完成当時の架橋地点は現在より200m程上流だったといわれます。老朽化等により何度も架け替えられ、位置も形も変化していきました。現在のアーチ型の橋になったのは、1927（昭和2）年のことです。

千住大橋際御上がり場についての展示

水と桜の散歩道

大谷田エリア

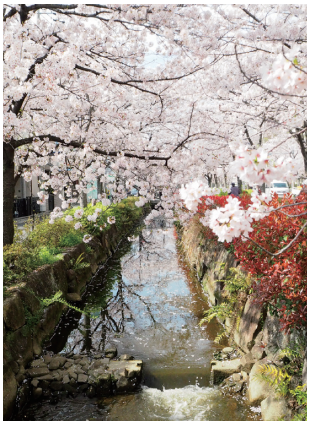
［おおやた］

1葛西用水親水水路

葛西用水親水水路では、水路沿いに約290本の桜（ソメイヨシノ）が植えられ、春には圧巻の桜並木を楽しめるほか、新緑や紅葉など季節を感じながらの散策もおすすめです。

※桜並木として楽しめる区間は主に大谷田1-1付近～佐野1-21付近です。

住足立区六木3-38～中川4-1



上：足立区立郷土博物館正面入口、下：東渕江庭園

令和7年3月（予定）まで改修工事のため休館

2足立区立郷土博物館／東渕江庭園

郷土博物館は、足立区の歴史を学べる常設展示のほか、足立区文化遺産調査の成果である区内固有の価値ある作品の数々が堪能できる企画展も開催。隣接の東渕江庭園には、国内外に多くの門下生を持つ故小形研三氏によって設計された回遊式日本庭園があります。

住足立区大谷田5-20-1
電03-3620-9393

3大谷田南公園

この公園では、自転車（補助輪付き）や足踏みゴーカートを楽しみながら交通ルールを学べます。また、園内にはミニ列車も走っています。交通遊具のほかに、じゃぶじゃぶ池や遊具もあります。

※開園時間などくわしくはお問い合わせください

住足立区中川4-42-1　電03-3605-5069

ミニ列車

4大谷田公園

約100本の梅の木が植えられた梅園では、梅の花を間近で鑑賞できるように、目の高さに合わせ木を剪定しています。2月下旬には梅園のライトアップや梅まつりを開催します。

住足立区大谷田4-4-1

5神明（しんめい）・六木（むつぎ）遊歩道

垳川（がけがわ）沿いに続く水辺と木々の風景が続く約2kmの遊歩道です。遊歩道には8つの公園や広場が隣接しており、葛西用水親水水路を挟んで西側に6神明水の森公園、東側に7六木水の森公園があります。

住足立区神明1-12から六木3-52

六木水の森公園付近の遊歩道

コラム 10

足立区が誇る5大イベント

しょうぶまつり＆世界の食広場

日程：6月上旬
場所：しょうぶ沼公園、都立東綾瀬公園（ハト広場）

約140種のハナショウブが見ごろを迎える6月上旬から鑑賞できます。園内にはハナショウブの他にも、高さ4mの滝やせせらぎ水路など、水と緑が楽しめる仕掛けがあります。東京メトロ綾瀬駅前のハト広場では世界一周グルメめぐりとして、約20ヵ国の料理が集まります。普段出会えない異国の料理をお楽しみください。

世界の食広場（ハト広場）

足立の花火

日程：7月下旬　　場所：荒川河川敷

都内で開催される大規模花火大会の先陣を切り、7月下旬に開催する「足立の花火」。わずか1時間の間に1万発超の花火を打ち上げます。ナイアガラなどの意匠を凝らした仕掛け花火や威風堂々の曲に合わせて打ち上げるグランドフィナーレなど、魅力が凝縮した高密度花火です。

あだち区民まつり「A-Festa」

日程：10月中旬　　場所：荒川河川敷

親子で遊べる体験ゾーンや物産展、チャップンの大冒険（スタンプラリー）など、子どもから大人まで誰でも楽しめる魅力たっぷりのイベントです。ダンスや楽器の生演奏が行われるステージショーやできたてのたこ焼き、串焼きなどが食べられるリバーサイドバザーも人気です。

光の祭典（ADACHI Christmas Illuminations）

日程：12月
場所：元渕江公園、竹ノ塚駅周辺・竹の塚けやき大通り

竹ノ塚駅を降りたらそこは幻想的なイルミネーションに彩られた街並み。メイン会場の元渕江公園では、高さ20mを超える自然木8本のイルミネーションツリーと、音楽とレーザーのコラボレーションも。また、キラキラ☆マーケット（物産展・模擬店）、ほっとカフェテリアやワークショップも楽しめます。

舎人公園千本桜まつり

日程：3月下旬　　場所：都立舎人公園

ソメイヨシノをはじめ約1,000本の桜が楽しめる舎人公園には、物産展や模擬店、PR展など100を超えるブースやステージショーなどの楽しい企画が目白押し。また、桜のほかに、2023年から新たにネモフィラの花壇が登場。ピンク×ブルーの色彩豊かな演出が楽しめます。

足立区街フォトコンテスト投稿作品 ❶第2回/hibikiさん ❷第4回/あおさん ❸第4回/ささみ。さん ❹第4回/小池一輝さん

コラム 11

足立区にはユニークな公園がいっぱい！

足立区にはミニ列車に乗れたり、人気の遊具や、ユニークな遊具を楽しめる、個性豊かな公園がいっぱい！

❶ミニ列車に乗れる！

大谷田南公園 住足立区中川4-42-1

北鹿浜公園 住足立区鹿浜3-26-1

❷人気遊具

迷路

脱出時間を競争してみよう！
竹の塚第八公園 住足立区竹の塚1-18-1

ローラーすべり台

全長約20.3m！　圧倒的な距離と緩やかなカーブが人気
新田さくら公園 住足立区新田3-34-1

ロープウェイ

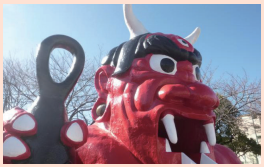
ターザンになった気分に！
島桙屋公園（しまこうじや） 住足立区鹿浜2-22-1

区内にはこの他にも特徴的で面白い遊具がたくさんあります。お気に入りの遊具を見つけてみよう！

❸タコさんすべり台

千住ほんちょう公園
住足立区千住4-22-16

番外編　迫力の鬼すべり台



舎人いきいき公園
住足立区舎人6-3-1

区内ステーション数は150カ所(2月現在)　ここがポイント！

お出かけはシェアサイクルで！

自転車を好きなときに、好きなだけ使うことができる「シェアサイクル」をぜひご利用ください。

- 利用料金は使用した分だけ
- 24時間借りられる
- 空きのあるステーションで乗り捨て可能

くわしくはこちら

PICK UP

あだちタコレクション

区内には10基のタコさんと1基のイカさんすべり台があります。ひとくちに「タコさんすべり台」と言っても、どれも個性的で1つとして同じものはありません。今回はその中から4つをご紹介します。

タコさんMAP

北鹿浜公園

タコさんの目の前にライオンが…海と陸の勝負はいかに!?
住足立区鹿浜3-26-1

水神橋公園

タコさんデザインコンテスト入賞の「みんなでたのしめる」柄のタコさん。
住足立区保木間5-32-4

千住東町公園

ツートンカラーのタコさん。ハチマキをした顔にも注目！
住足立区千住東2-20-7

新西新井公園

すべり台をロケットに見立てた、宇宙柄のタコさん。
住足立区西新井5-17-1

タコさんすべり台、ここだけの話

足立区が第1号説（諸説あり）
1965（昭和40）年に新西新井公園に設置されたタコさんすべり台が第1号ではないかといわれています。元々は「石の山」という名のすべり台だったようですが、『頭をのせたらタコになるのでは？』とのアドバイスを受け、出来上がったのがタコさんすべり台とのことです。

足立区が1番多い説
タコさんすべり台の数は、同一市区町村内の中で、足立区の10基が1番多いといわれています。

タコさんだけじゃない、イカさんも
区内唯一のイカさんすべり台が入谷中央公園（足立区入谷4-16-1）にあります。

遊具には対象年齢があります。対象年齢は遊具にシールで表示しています。
また、一度に多くのお子様がご利用になると危険性が高まりますので、ゆずり合ってのご利用をお願いします。

コラム 12

あだちの輝くお店セレクション ～スイーツ編～

みんなに伝えたい！ おすすめしたい！

区内外の皆さんからの推薦によって選ばれた10店舗とおすすめスイーツを紹介します。花小旅とともにお店めぐりをお楽しみください。

歴代のあだちの輝くお店セレクションはコチラ

1 喜田家　梅島店

どのお菓子もひとつひとつ丁寧に作った美味しさが評判です。材料にこだわった黒糖風味のどら焼き『六人衆』をはじめ、季節の和菓子をお楽しみください。

住 足立区梅田6-33-6　電 03-3880-3266
休 元旦のみ　時 9:00～18:00

黒糖で作られた生地がやさしい甘さで幅広い年齢層に人気です。

2 島田屋製菓

味にこだわり続けて研究、開発した『元祖長崎バウムクーヘン』。しっとりとした食感、比類なきやわらかさ、本物のバウムクーヘンの味を心ゆくまでご堪能ください。

住 足立区南花畑2-12-8　電 03-3883-0632
休 日曜日・祝日　時 9:00～18:00

厳選された素材と本格的な手法で丹念に仕上げた職人手作りの逸品。

3 パティスリー・アトリエ・エデュー

添加物、保存料、安定剤、着色料、人工香料などを一切使わず、本物の材料だけを使い心をこめてお菓子作りをしています。こだわりのモンブランがおすすめです。

住 足立区保木間3-2-12-101　電 03-3850-7860
休 月・火・水曜日 ※イベント時は営業（クリスマス等）
時 12:00～19:00　※無くなり次第終了

こだわりのモンブランペーストには有塩バターとフランス産のゲランド塩を使用。

4 pâtisserie emplir（パティスリー アンプリル）

「お菓子から笑顔が広がりますように」をスローガンに、手作りにこだわっています。綿のようなメレンゲや深みある味わいの焼き菓子が人気です。

住 足立区谷中1-5-3　電 03-5849-3372
休 不定休　時 11:00～19:00　※無くなり次第終了

賞味期限１時間！ できたてにこだわる珠玉のモンブラン。

5 パティスリーシフォン

ベーシックスタイルのケーキを中心に、焼き菓子も隠れた名物。シュークリーム、フィナンシェやマドレーヌなどの焼き菓子は、香りと味をしっかり引き出しつつ焼き加減も秀逸。

住 足立区西綾瀬2-23-30　電 03-5681-8010
休 水曜日　※不定休あり
時 10:00 ～ 19:00

ごたんのうろーるは、しっとりやわらかな食感と品のある甘さが人気。添加物を使わない厳選した素材のよさをご堪能ください。

6 パティスリートロワフィーユ

農林水産大臣賞など、数々のコンクールで受賞歴のあるシェフが腕を振るう店。植物性クリームやマーガリンを使わず、北海道産生クリームやバターなど素材を厳選しています。

住 足立区西竹の塚2-4-16　電 03-3854-0521
休 火曜日　※祝日の場合は営業、振替で水曜定休
時 10:00～20:00

ヘーゼルナッツ・カカオ・チョコの美味しさが詰まった逸品。

7 LA PATISSERIE LA VIE UN REVE（パティスリー ラ ヴィ アン レーヴ）

「当店のお菓子と共に、夢のような時間をすごして欲しい」。そんなオーナーの願いが込められたフランス菓子をお楽しみいただけます。素材にこだわり職人が丁寧に手作りしています。

住 足立区梅島3-6-16　電 03-6887-2579
休 不定休　時 10:00～19:00

カカオ70%のショコラとマンダリンオレンジの組み合わせが絶品。

8 マリオネット洋菓子店

国産の上質な素材を使用した洋菓子は、職人による丹精込めた手作りの逸品。季節感を大切に、白桃、メロン、梨、柿など、旬の果物をたっぷり使った限定ケーキは完売必至。

住 足立区保木間5-10-18　電 03-3883-2991
休 不定休　時 10:00～19:00

プレーン・紅茶・チョコの3種類と、季節限定の味が人気のシフォンケーキ。

9 槍かけだんご かどや

「槍」の字が書かれた藍色の日除け暖簾が目印。あん団子と甘辛味の焼き団子の2種類を提供しています。昭和23年の創業以来70年間余、変わらぬ伝統の味をぜひお楽しみください。

住 足立区千住5-5-10　電 03-3888-0682
休 水曜日　時 9:00～18:00

昔から変わらぬ味を求めて、遠方からもファンが通います。

10 洋菓子店グラン・フルール

こだわり抜いた厳選素材と製法で、目指すは「西新井で一番幸せな気持ちになれるケーキ屋」。熟練の技術で作るケーキ、焼き立てのマドレーヌ、厳選素材のプリンをぜひお楽しみください。

住 足立区西新井7-12-12　電 03-5856-9566
休 月・火曜日　※祝日を除く
時 11:00～15:00、16:00～19:00

卵・砂糖・製法にこだわった、くちどけの良い「究極なめらかプリン」

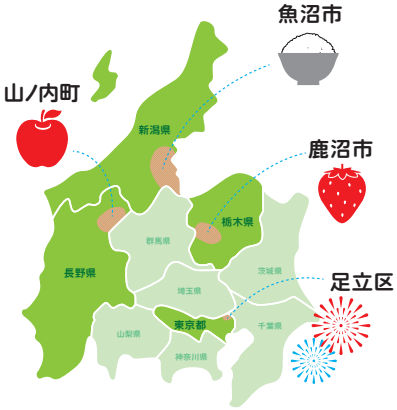
※各店舗の紹介ページは、令和6年2月15日現在の情報です。

住 住所 電 電話 休 定休日 時 営業時間

コラム 13

足立区の友好自治体と姉妹都市

足立区の友好自治体は３つあります。新潟県魚沼市、長野県山ノ内町、栃木県鹿沼市との交流は長年続いており、令和4（2022）年にはそれぞれ友好自治体提携30周年（鹿沼市）・40周年（魚沼市、山ノ内町）を迎えました。



鹿沼市へのアクセス

上野駅-鹿沼駅
（JR東北新幹線・JR日光線）
浅草-東武新鹿沼駅
（東武日光線）

上野-鹿沼IC
東北自動車道（約120km）

山ノ内町へのアクセス

上野駅-長野駅
（北陸新幹線）
- 志賀高原（長電急行バス）
- 湯田中（長野電鉄）
- 北志賀高原（長電急行バス）

練馬IC-信州中野IC
関越自動車道・上信越自動車道
（約225km）

魚沼市へのアクセス

上野駅-浦佐駅
（上越新幹線）
- 小出（JR上越線）

東京-小出IC※
関越自動車道（約250km）

※令和6年秋頃、魚沼ICに名称変更の予定

友好自治体 新潟県魚沼市 昭和57年10月提携

昭和30年代に旧小出町で開催された足立区主催のスキー教室をきっかけに、昭和37年から51年にかけて子ども交歓会を経て、提携を結びました。魚沼地域で収穫される米は、米の食味ランキングで最高評価特Ａに輝いたことも。噛めば噛むほど口の中で甘みが広がる魚沼市産コシヒカリをぜひ。

第14回魚沼市フォトコンテスト【朝焼けとユリ畑】和田正之さん

魚沼 へぎそば

「へぎ」といわれる器に、一口程度に丸めて盛り付けた切り蕎麦を「へぎそば」と呼びます。つなぎに布海苔（ふのり）を使いツルっとしたのど越しとコシの強さが特徴です。

友好自治体 長野県山ノ内町 昭和57年10月提携

昭和19年から20年にかけて区内の児童約1,800人が山ノ内町に疎開したことがきっかけとなり、昭和57年10月に友好自治体提携を結びました。四季折々の素晴しい自然に恵まれ、ウインタースポーツの聖地として知られる志賀高原や北志賀高原、湯量豊富な湯田中渋温泉郷を有する山ノ内町は観光地としても有名です。

地獄谷野猿公苑　写真提供/長野県山ノ内町

山ノ内 須賀川はやそば

千切り大根と水で溶いたそば粉をかき混ぜ、火を通し、ダシつゆに落として食べる「はやそば」は、長野県無形民俗文化財に指定されている郷土料理です。

友好自治体 栃木県鹿沼市 平成4年10月提携

昭和59年、足立区が鹿沼市内に野外レクリエーションセンターを開設したことをきっかけに提携を結びました。施設は色とりどりの花が競う「さつき祭り」や絢爛豪華な彫刻屋台が繰り出す「ぶっつけ祭り」などが有名です。

鹿沼 にらそば

見た目のインパクトで近年特に人気なのが「にらそば」。鹿沼市特産のシャキシャキとした甘味のある肉厚なニラを、ふんだんに食べることができます。地元に愛されるご当地の味。

友好都市 ベルモント市（オーストラリア） 昭和59年10月提携

昭和58年、足立区は海外都市との提携に向けて、区の紹介冊子「ADACHI」を作成しました。冊子を各国大使館などに配布したところ、ベルモント市からの申し出があり、昭和59年10月1日に姉妹都市提携を結びました。その後、両都市の学生によるホームステイを通じた異文化交流を重ねていきました。令和6年度は、姉妹都市提携40周年の節目を迎えます。両都市の交流がますます発展するためにも、引き続き学生を中心とした交流を継続していきます。

学生交流の様子

市のシンボルマーク